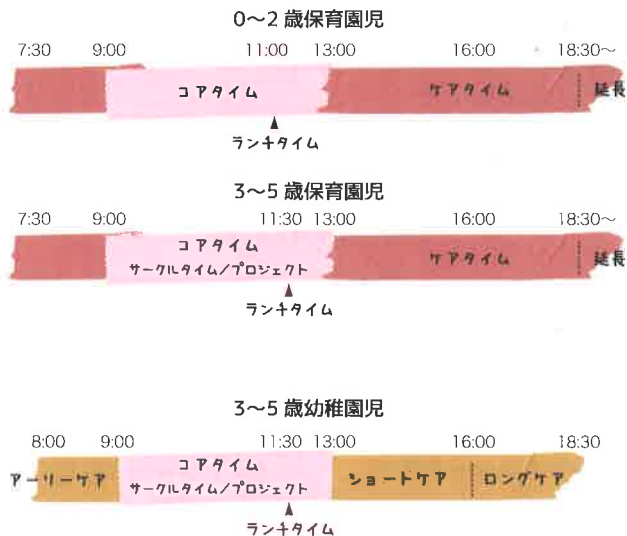


こども園の1日のタイムテーブル



コアタイム（教育保育の時間）月～金

国の教育保育要領に沿ったカリキュラムを実施する時間。それぞれのクラスに分かれ、成長に合わせたプロジェクトで、充実した体験・遊びの時間と、食事や身の回りのこと、対人関係など身につけられるように過ごします。

サークルタイム

幼児クラスでは「サークルタイム」というクラスミーティングをしています。サークルタイムではその日、翌日の活動内容や食事のことなど、一日の流れを伝えると共に、職員からの一方的な話ではなく、双方向の「対話」を重視します。こどもたちが自分から考えて行動できるための「見通し」が持てるよう工夫しています。

ケアタイム（こどもたちをお預かりする時間）

各家庭のライフスタイルに応じてこどもたちを預かります。安全面に配慮し、コアタイムに入るまでの時間と、コアタイムを超え、迎えが来るまでの時間を楽しく過ごし、気持ちの解放を促します。尚、土曜日は終日ケアタイムとなり、登園する人数に合わせて活動をします。

imagine

想い

今の社会には、こどもが“こどもの時間”で過ごすことが難しくなっている。私たちはそう考えています。社会福祉法人浜寺会では、「こどものクリテリア（基準）」とは何か？ということを見つめ直し「主体的な遊び」を中心にした生活を送りながら、感受性ゆたかな人間形成の基礎力「自分で考えて行動できる力」を導き出せるようにしたいと願っています。

edu+care aim

教育保育目標

“こどもたちに力を与える教育・保育”

- 元 氣（礎の力）**
生きる基礎となる健全な身体を養う
- 自 立（個の力）**
自分で出来る、自分でやってみようと言う気持ちを養う
- 自 律（複の力）**
葛藤を乗り越え、仲間といることの喜び、助けようとする優しさを養う
- 表 現（多の力）**
仲間や大人達に向けて自分を表現すると共に、社会の中の自分を意識する

contact

〒590-0113
堺市南区晴美台2-2-2
TEL 072-293-2000
FAX 072-293-4069
E-mail info@harumidai.ed.jp

EDUCATION & CARE

エデュケーション & ケア

こども園は、乳幼児にとってはじめての集団生活の場、はじめての学校です。幼保連携型認定こども園の特色である、多様性のある人間関係の中で乳幼児期を過ごすことは、社会性形成の第一歩として非常に大切な『仕組み』です。社会福祉法人浜寺会では、「教育と保育」を一体的におこなう「エデュケーション&ケア」をコンセプトにして、体験型の遊びを数多く取り入れながら、能動的な学び意欲を高める計画的な教育保育を実践しています。

認定こども園
はるみだれ保育園
Harumidai
NURSERY SCHOOL
Centers for Early Childhood Education and Care

教育・保育理念

私たちは子どもにふさわしい世界を求めます。子どもにとってふさわしい世界はすべての人にふさわしい世界だからです。子どもは全ての人の未来であり希望、私たちは全ての子ども達に等しく成長発達のお機が与えられるよう最大のお力と研鑽をし、教育と保育を一体的に行ないます。

※「私たちにふさわしい世界」より一部抜粋

教育保育環境

反復と暗記を重視する教育では、「今」ある能力を最大限に拡大していくことは可能でも、「明日」到達するかも知れない能力を、自ら引き寄せる力をつけることは困難だと感じています。その為に一斉伝達による教育ではなく、小グループによる活動を多く取り入れ、自ら疑問を探求し、主体的活動に繋がる教育保育環境作りをします。

保育教諭との関係性

乳幼児期の子どもたちに教育と保育を行なう上で、ニアネス（密着）とディスタンス（距離感を意識した見守り）が必要です。乳児期から丁寧に関わる現実体験を積み重ねるなかで、表出してくる知らない世界、分らない事象に対して、自発的に関わって知ろうとする意欲を導き出すために、子どもたちの成長を同列に捉えず、それぞれの発達に合わせて関わり度を変化させながら、子どもたちと向き合う教育保育を行ないます。

他者との関係性

社会性を伴った行動が出来るように「自立」と「自律」を意識して教育保育を行ないます。自立はアクセルであり、自律はブレーキ。その両方が無いとハンドルは切れません。自立は前に進むとうする気持ち、挑戦する力、前進する力。一方、自律は前に進む際の制約や基準をコントロールする力。その条件設定を自分自身で行なう力。周りとの調整を図りながら、創意工夫や判断能力が持てる教育保育を行ないます。



ピラミッドメソッド認定プレート



Pyramid method

社会福祉法人浜寺会では、オランダの政府教育機構 Cito 社が開発推奨しているオルタナティブ教育手法「ピラミッドメソッド」を導入して保育をしています。ピラミッドメソッドは、従来の一斉保育から、個々の成長に合わせたケアを行ないながら、プロジェクトを通して、子どもの自律性を高め、主体的な遊びを通して、自ら考えて能動的に活動する力を高めていくための教育保育手法です。

EduCare

Centers for Early Childhood Education and Care

「エデュケア」教育と保育を一体的に

乳児クラスコンセプト

Nursing Class

ナーシングクラス

乳児保育は「育児担当保育」で、個々の子どもの欲求を出来る限り受けとめながら生活できるように配慮し、愛着を形成させていきます。遊びを通して自立を促し、自然な流れで生活力が身につくように見守っていきます。

育児担当保育 (Individual Care)

いつもの保育者、いつもの場所、いつものやり方で保育する。
食事・排泄・着脱・睡眠

乳児家庭の生活リズムに合わせ、生理的な欲求を満たす
乳児の発達段階、心理状況を把握する
ひとりひとり丁寧に関わりで生活習慣を身につける

愛着関係の形成
ATTACHMENT

安心して遊べる基礎作り

発達を促すベース作り

遊びを通して「五感」を刺激し、感覚を育む遊びを拡げる
見る 聞く 嗅ぐ 味わう 触れる

質と量を考慮した玩具の提供
良質な食器による食事
様々な道具を使っての表現遊び
わらべ歌や耳ざわりの良い音楽

認知能力・情緒性・身体能力を高める

幼児教育保育へ

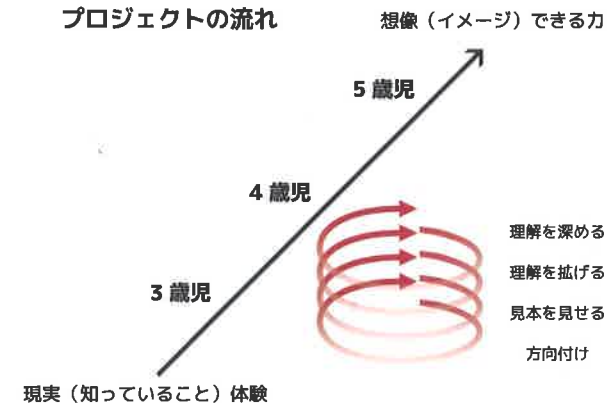
幼児クラスコンセプト

Education Class

エデュケーションクラス

幼児期は遊びを通して学びの基礎を形成する時期です。そのベースとなるプロジェクトは、3歳~5歳まで同じ時期に同じテーマで進めていきます。セクションごとに遊びと実体験を通して、「数」「比較」「水」「色」などの身近な疑問や好奇心に的を絞って進めていきます。

プロジェクトの流れ



プロジェクトの進め方

- 導入 ▼ 子どもたちの知っていることからテーマを感じさせ、何をして遊ぶのか、方向性をつけます。
- 見本 ▼ テーマの提案から実際に見本となる活動や題材にふれながら関心を深めていきます。
- 説明 ▼ 体験や経験を重ねて想像の中から、なぜ?どうして?を感じ、それを言葉に置き換えられるようにします。
- 理解 ▼ 疑問を解決に導きながら、理解したことを表現(言語化)していけるようにします。

「遊ぶ」=「学ぶ」となる基礎作り

小学校教育へ